

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科 医療情報学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18002	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	哲学と宗教 (Philosophy and Religion)				
担当教員名	山本 伸裕				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要</p> <p>現代の日本人の生活にとって、宗教というのは縁遠い存在と思われているようである。しかし、人間は「ホモ・レリギオス（宗教人）」とも定義されてきたように、宗教は人間が生きていく上で欠かせない要素である。深く人間存在を知り、世界のありようを知るには、人びとがもつ宗教性に目を向ける必要があるのと同時に、自らが無意識のうちに立脚している宗教性に目を向ける必要があるであろう。</p> <p>この授業では、宗教についての基本的な知識を身につけるとともに、日本人の倫理や道徳を支える宗教性にあらためて目を向けることで、一人一人が豊かに生きていくヒントにしてもらいたい。</p>					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は指定しない。授業では、その都度レジュメ（プリント）を作成し、配布する。 ・シラバスは受講者の関心や理解度に応じて変更することもある。興味を持ったテーマがあれば、図書などをつうじて、自主的に考えを深めておいて欲しい。 ・授業後、試験前には配付資料に再度目を通し、内容を整理しておくこと。 ・質問などあれば、授業内でも授業外でも受け付けるので、積極的に取り組んでももらいたい。途中、小テストなどを行うこともあり得るので、試験前にまとめて復習すればいいと考えること。 ・授業内で、随時、宗教意識に対するアンケートを実施し、その集計結果を授業の内容に反映するので、問題意識をもって授業に臨んで欲しい。 ・医療保健関係の仕事に携わる者として、人間理解を深めるよう努めてもらいたい。 					
成績評価の方法	単位認定試験 50%、小テスト 40%、平常点 10%				
テキスト	指定なし				
参考図書	山本伸裕『他力の思想～仏陀から植木等まで』（青灯社、2013年） 山本伸裕『日本人のものの見方』（青灯社、2015年） 菅原伸郎『宗教の教科書12週』（トランスビュー、2005年） 勝田至『死者たちの中世』（吉川弘文館、2003年）				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認のこと。 ・第6回目と第14回目に、それまでの授業の内容を問う小テストを行う。哲学や宗教についての常識的な知識は、教養として最低限身につけるよう努めてほしい。 ・質問などがあれば授業後に受け付ける。
授 業 計 画	
<p>第1回：宗教とは何か① ～「宗教」と「カルト宗教」の違い、「宗教」と「哲学」の違いは何か。</p> <p>第2回：宗教とは何か② ～「宗教」と「倫理」はどのような関係にあるのか。</p> <p>第3回：世界の宗教① ～旧約聖書とユダヤ教。ユダヤ教の世界観や人間観から西洋人の基本的ものの見方を考える。</p> <p>第4回：世界の宗教② ～新約聖書とキリスト教。イエスの生涯とユダヤ教徒の関係。イエスの説く「愛」とは何か。</p> <p>第5回：世界の宗教③ ～コーランとイスラム教。ムハンマドの生涯とコーランの教え。</p> <p>第6回：聖都エルサレム ～祈りと平和の都・エルサレムを巡る。《小テスト》</p> <p>第7回：儒教と道教 ～老子・荘子の思想、孔子・孟子の思想。東洋思想の二つの源流。</p> <p>第8回：仏教① ～インドの宗教・哲学と原始仏教。釈迦の生涯と思想。仏教思想誕生の背景。</p> <p>第9回：仏教② ～大乘仏教の発展と展開。大乘仏教と小乗（部派）仏教。龍樹の「空」思想とは。</p> <p>第10回：仏教③ ～日本仏教の性格。鎌倉仏教の祖師たちの思想。</p> <p>第11回：日本人の宗教心① ～日本の神話。『古事記』、『日本書紀』の世界。</p> <p>第12回：日本人の宗教心② ～日本人の生活と神道の思想。やまと言葉と宗教心。</p> <p>第13回：日本人の宗教心③ ～日本語表現に埋め込まれた宗教心について考える。</p> <p>第14回：現代と宗教① ～宗教思想の抱える諸課題。現代を生きるうえで宗教はいかなる意味をもつのか。 《小テスト》</p> <p>第15回：現代と宗教② ～死に向き合う。死と穢れ。僧侶と葬式とのかかわり、宗教と死体処理の関係について。</p>	